

| 科目名 | 政治・経済 | 英語科目名 | Politics and Economics |
|--|-----------------------------|----------------|------------------------|
| 開講年度・学期 | 平成28年度・通年 | 対象学科・専攻・学年 | 2年 機械工学科 |
| 授業形態 | 講義 | 必修 or 選択 | 必修 |
| 単位数 | 2単位 | 単位種類 | 履修単位 |
| 担当教員 | 山本 大 | 居室（もしくは所属） | |
| 電話 | 0285-20-2100 | E-mail | tueno@oyama-ct.ac.jp |
| 授業の到達目標 | 授業達成目標との対応 | | |
| | 小山高専の教育方針 | 学習・教育目標(JABEE) | JABEE 基準要件 |
| | 1. 民主主義の基本的な考えを理解し、説明できること。 | ① | D |
| 2. 現代社会の基本的な経済構造を理解し、説明できること。 | ① | D | b |
| 各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法 | | | |
| 上記2点について、前期後期それぞれ2回の試験の点数および授業参加状況（授業中の発言や報告（提出物を含む）、発表内容）により総合的に評価し、60%以上の成績で達成とする。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 前期後期それぞれ2回の試験の点数（中間試験4割、定期試験6割）：80% | | | |
| 授業参加状況（授業中の発言や報告（提出物を含む）、発表内容）：20% | | | |
| 授業内容 | | | |
| 1. 民主政治の基本原則（1） 2. 民主政治の基本原則（2） 3. 日本国憲法と平和主義 4. 基本的人権の保障（1） 5. 基本的人権の保障（2） 6. 基本的人権の保障（3） 7. 国民生活と政治機構（1） 8. 国民生活と政治機構（2） 9. 現代日本の政治 10. 国際政治と日本（1） 11. 国際政治と日本（2） 12. 経済社会と経済体制 13. 現代経済の仕組み（1） 14. 現代経済の仕組み（2） 15. 現代経済の仕組み（3） 16. 日本経済のあゆみと現状（1） 17. 日本経済のあゆみと現状（2） 18. 労働と社会保障（1） 19. 労働と社会保障（2） 20. 世界経済と日本（1） 21. 世界経済と日本（2） 22. 現代日本の諸課題（1） 23. 現代日本の諸課題（2） 24. 現代日本の諸課題（3） 25. 現代日本の諸課題（4） 26. 現代日本の諸課題（5） 27. 国際社会の諸課題（1） 28. 国際社会の諸課題（2） 29. 国際社会の諸課題（3） 30. 国際社会の諸課題（4） | | | |
| キーワード | 民主政治、日本国憲法、基本的人権、現代経済 | | |
| 教科書 | 教科書「高等学校現代政治経済」清水書院 | | |
| 参考書 | 授業中に適宜紹介する。 | | |
| カリキュラム中の位置づけ | | | |
| 前年度までの関連科目 | 地理 | | |
| 現学年の関連科目 | | | |
| 次年度以降の関連科目 | 倫理社会、人間と科学 I / II | | |
| 連絡事項 | | | |
| シラバスの内容に変更があった場合は受講者に対して速やかに説明する。 | | | |
| シラバス作成年月日 | 平成28（2016）年3月22日 | | |

| 科目名 | 政治・経済 | 英語科目名 | Politics and Economics |
|--|-----------------------------|----------------|------------------------|
| 開講年度・学期 | 平成28年度・通年 | 対象学科・専攻・学年 | 2年 物質工学科(後期) |
| 授業形態 | 講義 | 必修 or 選択 | 必修 |
| 単位数 | 2単位 | 単位種類 | 履修単位 |
| 担当教員 | 山本 大 | 居室(もしくは所属) | |
| 電話 | 0285-20-2100 | E-mail | tueno@oyama-ct.ac.jp |
| 授業の到達目標 | 授業達成目標との対応 | | |
| | 小山高専の教育方針 | 学習・教育目標(JABEE) | JABEE 基準要件 |
| | 1. 民主主義の基本的な考えを理解し、説明できること。 | ① | D |
| 2. 現代社会の基本的な経済構造を理解し、説明できること。 | ① | D | b |
| 各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法 | | | |
| 上記2点について、前期後期それぞれ2回の試験の点数および授業参加状況(授業中の発言や報告(提出物を含む)、発表内容)により総合的に評価し、60%以上の成績で達成とする。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 後期2回の試験の点数(中間試験4割、定期試験6割): 80% | | | |
| 授業参加状況(授業中の発言や報告(提出物を含む)、発表内容): 20% | | | |
| 授業内容 | | | |
| 1. 日本経済のあゆみと現状(1) 2. 日本経済のあゆみと現状(2) 3. 労働と社会保障(1) 4. 労働と社会保障(2) 5. 世界経済と日本(1) 6. 世界経済と日本(2) 7. 現代日本の諸課題(1) 8. 現代日本の諸課題(2) 9. 現代日本の諸課題(3) 10. 現代日本の諸課題(4) 11. 現代日本の諸課題(5) 12. 国際社会の諸課題(1) 13. 国際社会の諸課題(2) 14. 国際社会の諸課題(3) 15. 国際社会の諸課題(4) | | | |
| キーワード | 民主政治, 日本国憲法, 基本的人権, 現代経済 | | |
| 教科書 | 教科書「高等学校現代政治経済」清水書院 | | |
| 参考書 | 授業中に適宜紹介する。 | | |
| カリキュラム中の位置づけ | | | |
| 前年度までの関連科目 | 地理 | | |
| 現学年の関連科目 | | | |
| 次年度以降の関連科目 | 倫理社会, 人間と科学 I / II | | |
| 連絡事項 | | | |
| シラバスの内容に変更があった場合は受講者に対して速やかに説明する。 | | | |
| シラバス作成年月日 | 平成28(2016)年3月22日 | | |